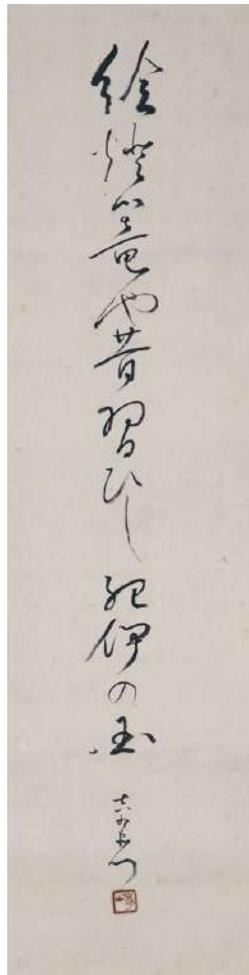


■平成 26 (2014) 年度



鏑木清方作
《寫生》
昭和 14 年 (1939)
紙本淡彩・軸
26.0×16.8 cm



鏑木清方・中村吉右衛門作
《繪燈籠》
昭和 14 年 (1939)
紙本淡彩・軸 (双幅)
(各) 91.2cm×23.3 cm

繪燈籠や昔習ひ 紀伊の國 吉右衛門 秀山

(解説)
初代中村吉右衛門 (俳号・秀山) が昭和十二年 (一九三七) に詠んだ俳句で、名人・花柳勝次郎に手ほどきを受けていた幼い頃を追懐したものである。吉右衛門は十三代目守田勘彌と共に端唄の「紀伊の國」を稽古してもらい、燈籠の絵が回りながら大きくなり消えていく様を表現する場面で、よく失敗を重ねていたことを、早世した勘彌への思いを込めて詠んだ。

■平成 27 (2015) 年度



木村莊八作
『花の生涯』挿絵原画
昭和 27 年 (1952)
紙本・ペン・墨
13.4×16.3 cm



落葉焚く
昭和 40 (1965) 年頃
紙本着色・軸
56.0×36.0 cm



帯締 月にうさぎ (泉鏡花遺愛品)
2.1×3.4 cm (紐の長さ 98.5 cm)



水野年方作 清方像 写生（清方題）
 明治 28 年（1895）
 紙本墨画
 26.8×19.0 cm



自画像 挿絵原画
 昭和 31 年（1956）
 紙本墨画
 20.9×13.9 cm
 （「先生の写された筆者十七歳の像から」）



自画像／水野年方夫妻 挿絵下絵
 昭和 31 年（1956）
 紙本墨画
 18.8×25.0 cm



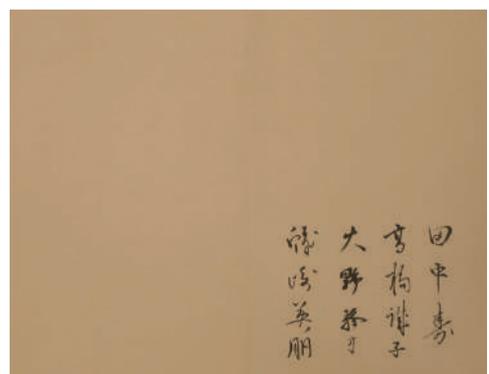
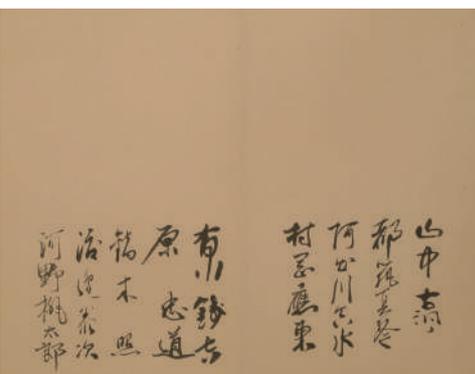
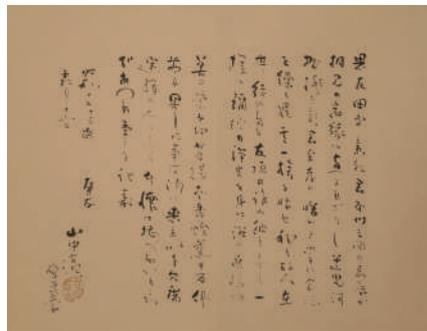
自画像
昭和初期
紙本墨画
24.2×17.2 cm

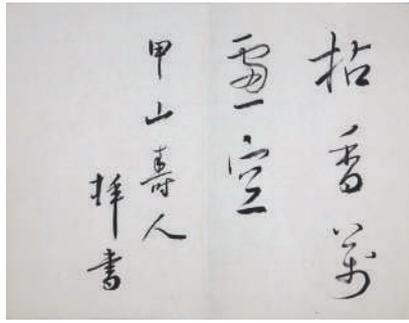


自画像
昭和24年(1949)
紙本鉛筆淡彩
36.5×28.2 cm

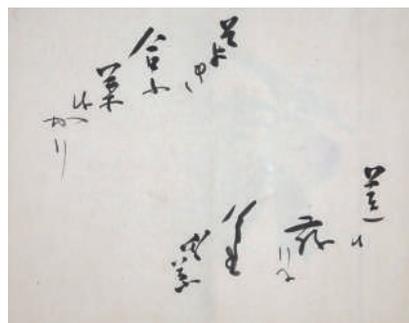


田中素水三十三回忌 画帖
昭和12年(1937)
紙本淡彩・画帖
(各) 28.3×18.2 cm



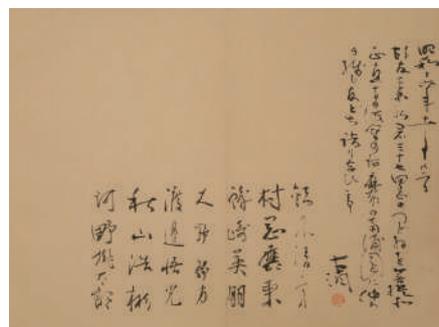


鏑木清方 作





田中素水三十七回忌 画帖
 (ひとつ契)
 昭和 16 年 (1941)
 紙本淡彩・画帖
 (各) 27.0×18.2 cm



(すべて田中素水作)



鐙木清方（口絵集より）

鐙木清方（口絵集より）

■平成 28 (2016) 年度



上 鐮木清方作 下絵
明治 26 年 (1893)
紙本墨画朱線
17.0×25.0 cm

下 鐮木清方作 挿絵
明治 26 年 (1893)
紙本墨画淡彩
16.6×25.0 cm
(笠原常方旧蔵)



鐮木清方作 口絵 (校合摺)
明治 26 年 (1893)
紙本墨画朱線 20.7×31.5 cm (笠原常方旧蔵)



鐮木清方作 口絵 (差上げ)
明治 26 年 (1893)
紙本墨画朱線 27.4×39.4 cm (笠原常方旧蔵)



笠原常方作 人物寫生帳 第貳 表紙
明治 28 年 (1895)
紙本墨画・画帖
24.5×33.8 cm



笠原常方作 人物寫生帳 第貳 (鐮木君)
明治 28 年 (1895)
紙本墨画・画帖
24.5×33.8 cm